

信州首都圏総合活動拠点の整備について

【経済部会】

長野県市長会では、平成 24 年度に、「長野県アンテナショップの充実強化」を知事に要望したところ、「第 3 回県と市町村との協議の場」におけるテーマとして取り上げられて以来、県・市長会・町村会等の代表者からなる検討会議等において大都市圏における発信拠点「信州ブランドショップ（仮称）」の設置について検討がされてきた。

さらに、25 年度においても引き続き、総合的な発信拠点の整備を目指して、専門的な視点を取り込みながら、「拠点のあり方」、「コンセプトづくり」、「具体的な発信内容と候補物件」について調査・設計・検討を行うこととしている。

県は、本年 7 月、信州首都圏総合活動拠点として整備することを決定し、実施計画を専門業者に発注し、策定中とのことである。

また、運営コンセプトの策定、物件の選定、体制づくり等を検討するため信州首都圏総合活動拠点整備推進会議を設置し、現在、議論が進められているところである。

こうした中、県は拠点となる物件の借受に当たり初期費用を補正予算案に盛り込み、11 月県議会に提案した。その実現に向け具体的に動き出すことは、要望した市長会としては歓迎するところである。

今後、平成 26 年 7 月の開業（予定）に向け、信州首都圏総合活動拠点整備推進会議や市町村の意見を広く聴くなど、明確なコンセプトを持ち合わせたうえで他にはない信州らしい総合活動拠点にするとともに、県、市町村及び産業界が協働しオール信州として運営に取り組めるよう要望する。

